阪神淡路大震災 30 年追悼集会（避難地震訓練）

1月１６日（木）

明日１月 17 日(金)は阪神淡路大震災から３０年目となります。1995 年１月 17 日、阪神・淡路大震災が発生しました。戦後初の大都市直下型地震は、関連死を含め 6434 人の命を奪い、住まいや仕事など暮らしの土台を崩壊させました。あの震災から３０年の月日が流れました。ここ数日のニュースでも、様々な震災に関する行事が、感染症等や被災者の高齢化により取りやめになっていることが報道されていました。17 日午前５時 46 分には神戸の東遊園地では、竹灯籠で一般公募により決まった「がんばろう」の文字が映し出されます。震災直後に「がんばろう KOBE」の文字をよく見かけたことを思い出します。また、３月 11 日は東日本大震災から 14 年となります。君たちはほとんど記憶にないのではないでしょう。今日のような学習は、命を守り、町を守るためにも、震災の記憶を風化させてはいけません。今日は地震を想定した避難訓練を行いました。その後、阪神淡路大震災から 30 年追悼集会を行いました。30 年前の震災を風化させないようみんなで伝えていきましょう。

2024 年度 1.17 阪神淡路大震災 30 年追悼集会（次第）

１）開会の言葉

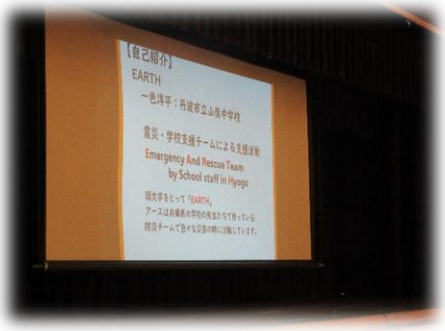
２）黙　祷　阪神・淡路大震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すべく、1 分間の黙とうを捧げ、御冥福をお祈りします。

３）校長先生あいさつ

４）講　演「　震災によりそう　」兵庫県教育委員会　震災・学校支援チーム EARTH（アース）隊員一色　洋平教諭（丹波市立山南中学校より派遣）

避難訓練の様子と非難における注意点、EARTH 隊員としての経験などについて講演をしていただきました。　　※その後質疑応答

５）お礼の言葉

６）閉会の言葉　　※閉会後各教室に戻り、感想用紙に振り返りを記入しました。

※「命」の尊さや「友だち」の大切さについて今一度考えさせられる時間でした。追悼集会は終了しましたが命の大切さや人との繋がりについて考えさせられる日がしばらく続きます。各学年感想もしっかり書けていました。